

# 中山間地域の食文化と 里山ライフスタイルを知る



(対象地域: 広島県安芸高田市)

# 1. 安芸高田市及び中山間地域の概要・地域のイメージ

## 安芸高田市について

- ・広島県北部に位置する、豊かな自然に恵まれた地域
- ・広島市内から車で1時間半
- ・人口29,000人のうち65歳以上の人口比率は38.3%
- ・土師ダム、吉田サッカー公園、たかみや湯の森、神楽門前湯治村などの観光・レクリエーション施設がある

## 地域のイメージ

- ・過疎地域
- ・自然豊か
- ・人があたたかい
- ・少子高齢化
- ・自給自足

## 2. 現地学習スケジュール

6月17日 (1日目)

- オリエンテーション・自己紹介
- 農業体験 (田植え)
- 昼食 (ジビエカレー、懇親)
- 里山ライフスタイルレクチャー (鹿の解体、薪作り、畑仕事)
- 食事準備 (炊飯、肉、火おこし、野菜調達～カット)
- BBQ・地域交流会

6月18日 (2日目)

- 朝食
- 農業体験 (大豆の定植、野菜の収穫)
- 昼食 (猪肉燻煙ベーコン作り、収穫した野菜と燻製ベーコン炒め、ヨモギの天ぷら作り、ハーブティーなど)
- ファブラボ見学と鹿革ワークショップ体験

### 3. 農業体験について(現地へ行く前)

#### ▽イメージ

- ・少子高齢化、過疎化、6月なので夏野菜が採れそう、暑い中ずっと作業をしているイメージ、とにかく大変なイメージ

#### ▽魅力

- ・都会では体験できないこと(自給自足)ができる
- ・自分で収穫することで、食べ物や農家の人のありがたみがわかる

#### ▽課題

- ・市街から遠い
- ・外部の指導者の不足、準備に時間がかかる、経費がかかる

# 農業体験の様子





## 農業体験を終えて・・・

### ▽イメージがどう変化したか

- ・暑い中作業するのではなく、朝や夕方など比較的涼しい時間に行うことがわかった
- ・大変なこともみんなで協力して行うものだとなった(あたたかいイメージ)
- ・自然の循環を意識して活動している

### ▽魅力

- ・落ち着いて、無理はしないというふうに自分のペースで作業を進めることができるが、やることを確実に行っていった(芯の強さ！)
- ・自分で育てて収穫するからこそ、大変さがわかり食べ物を無駄にできないと思った

### ▽課題

- ・想像よりも体力が必要、暑い中でも作業する必要がある

## 4. ジビエ料理体験について(現地へ行く前)

### ▽イメージ

- ・生臭そう、硬そう、淡泊、寄生虫が多い、あまり美味しくない

### ▽魅力

- ・野生鳥獣による農業被害減少につながる
- ・栄養価が高く、高たんぱく低カロリー

### ▽課題

- ・ジビエ料理についての知名度が低い



### ジビエ

フランス語で、狩猟によって食材として捕獲された野生の鳥獣を意味する



## ジビエ体験の様子





## ジビエ体験を終えて・・・

### ▽イメージがどう変化したか

- ・臭みなくおいしく食べれた、肉が柔らかかった
- ・命を頂く大切さ(いろいろと考えさせられた)、殺したものに恥のないように生きたい(いただきますの重み)
- ・今まで食べていただけの肉を、はじめから見ることのできる貴重な機会だった

### ▽魅力

- ・お肉が食べられるありがたさがわかった

### ▽課題

- ・鹿肉は、味付けなしだと独特のにおいがあり、好き嫌いがわかれると思った

## 5. ファブラボ体験について(現地へ行く前)

### ▽イメージ

- ・ものづくり、3Dプリンター、よくわからない

### ▽魅力

- ・自分が作りたいものを自分で作れる。
- ・幅広い分野に活かせる

### ▽課題

- ・知名度が低い<sup>ため</sup>、普及率が悪い



### FabLab

Fab=fabrication(ものづくり)、fabulous(素晴らしい)  
lab=laboratory(研究室)

個人による自由なものづくりの可能性を広げるための  
デジタル工作工房とそのネットワークのこと

新しいアイデアの試作・価値を提供することを意識して  
3Dプリンター・レーザーカッターの講習会とロボット  
ワークショップをメインに活動している

# ファブラボ体験の様子





## ファブラボ体験を終えて・・・

### ▽イメージがどう変化したか

- ・ハンドメイドのイメージが強かったが実際は工業的な作業が多かった
- ・**鹿の皮に感謝**しながら活動している
- ・工房を貸し出すというビジネスがあることを初めて知った(**想像よりも地域に開かれていた**)

### ▽魅力

- ・パスケースやスマホケースなどいろいろなものが何色でも作れる

### ▽課題

- ・**知名度が低い**
- ・ファブラボに行った際、完成品のクオリティと体験する人の満足度の向上をどちらもバランスよく考えた体験にするとより良いと思った。

## 6. 現地学習を通じて感じた地域の魅力とは？

### 自然に関して

- 空気がおいしい
- 自然の恵みにたくさん触れられる
- 広大な土地や豊かな自然でのびのびできること

### 食べ物に関して

- **食料ひとつひとつに感謝できる**
- 自分で育てた野菜だから一層おいしく感じられる
- 農業の新鮮さ、素晴らしさを実感できる

### 暮らしに関して

- 都会で体験できないことができる (田植え、畑を耕す、ジビエ料理作り)
- 人の便とかが肥料になるので、自然の循環を知ることができる
- 時間がゆっくり流れている
- 街へのアクセスも比較的容易
- 夜は涼しく**星がきれい (ホタルもいる)**

### 人間関係について

- 近所の人や自然との**つながり**を大切にできる
- 子供には間違いなくいい環境



## 7. 現地学習を通じて感じた地域の課題とは？

- **本当の魅力が伝わりきってないこと！！**

⇒ 現地の魅力を実際に体験して、その体験を伝える

⇒ 地域外部の人と協働すべき

- **若者が”中山間地域”を知らないこと**

⇒ 流出した若者(後継者)をどう戻すか

⇒ 情報発信

- **車がないと不便(むしろ必須)**

⇒ インフラ整備や宿泊施設・利用環境の充実

## 8. こうしたら地域がもっと魅力的になる、面白くなる！

### ▽企画

- 大人も参加できる農業体験ツアー
- 「プレ地域おこし協力隊」！！(体験版、インターンシップ)
- ほかの中山間地域同士の交流会
- 短期・長期インターンシップ、スタディツアーの開催

### ▽その他

- 外国人もターゲットに
- HPで体験内容や感想を掲載
- ファブラボの施設拡大
- ジビエを地域グルメとしてアピール

## 9. 自分自身の「地域」への関わり方

- 地域の魅力発信
- 地域のイベントに関わる
- 実際に現地を訪れてその地域について知る
- 地域の課題を見つけ、経験を増やしていく中でやりたいことを見つけること
- 移住などに興味がある人におすすめの地域を勧める
- 将来、観光の仕事で地域体験するツアーを企画
- 地域へのアンテナを張り続けること
- 国際協力・開発を考える際、地域での経験を使う
- 自分が作る作品を通じて知ってもらおう

## 10. 今回の体験を今後どう活かしていくか

- 物事を考える際に違う視点ではどうかな？という考え方を持つこと。
- 開発問題を考える際に、自然が持つ固有の豊かさのようなものを忘れないようにする。
- 今後は命をいただいて生きているということを忘れずに、それに恥じない生き方をしようと思った。
- 他の地域の問題とも照らし合わせて考える。
- 体力をつけようと思えるきっかけになった。
- 田舎の良さを伝えていきたい。
- ”地域おこし”への関わり方
- 自分は将来どういうところで、何をしたいのか。今まで全く見えていなかったけれど、田舎も悪くないなと思ったので、田舎で暮らすことも考えたい。

## 11. 来年地域課題演習を受講する学生に伝えたいこと

- 地域課題演習に参加することで、普段はできない体験をすることができた。
- ハンドタオル最低3枚、帽子と日焼け止めクリームは必須。  
農業体験の田植えの時、捨てても良い服装で挑むこと。一泊二日の中で、服は上下2セットずつは必要。
- 様々なことが知れて本当に勉強になる。
- 行かないとわからないことばかりなので行ってみてください。
- 泥まみれになることを恐れてはいけない。
- 視野が広がった。
- 開発とは何か、どういうことかを日本で考えられる良い機会だと思う。  
世界を見るためには、日本内部を見ることも大事なのでは？
- 自分や地域の将来を考える良い機会になった。

ご静聴ありがとうございました

